

No.1-2004

平成16年1月31日発行

理事長所信

輝きを放ち かつこよく行こう!



2004年度理事長 松村 讓裕

不況といわれ十数年がたち「今が変革の時」というフレーズにも飽きてきた昨今。

耳を疑いたくなる現実に怒りを越えた憤りを感じることも多くなり、一種諦めに近い空気に包まれている日本、そして秋田を皆さんどう感じていますか。誰もがおかしいと感じている事が当たり前に行われていく中で、次世代を担う子供たちに夢ある未来を受け継ぐことが出来るのでしょうか。教育・環境・企業経営・行政等あらゆる面で問題が山積しているのが現実です。

気付かぬうちに傍観者であったり自らがそれを容認していたりしていませんか。既に今立場がどうのと議論する時期は過ぎています。我々が変革の能動者として当事者意識を持ち、捉われることなく「明るい豊かな社会」を目指し、対立を恐れず気概を持って立ち向かうことが必要なのではないでしょうか。志を持つ者の建設的対立なくして改革など実現する筈がありません。いつの時代もそういった青年達の間力によって歴史は切り開かれてきたのです。

活力ある継続的エネルギーは、プラス思考に基づく実践活動の中での成功体験の積み重ねによって生まれます。我々自身そして多くの方々に、その輪を広げて行くことが社会開発運動の原点と考えます。

IT化も拍車がかかり、今ではすっかり「地球はひとつ、世界はひとつ」が当たり前となりました。政治・経済・文化・環境等様々な分野で繋がりが密となった現代は、地球益を視野に入れた環境との共生への取り組みが求められます。そして、次世代の子供たちへ豊かで持続可能な地球とそれを育む心を受け継いでいかなければなりません。また「9・11テロ」以降の世界情勢の変化により国家間の関係も大きく変わりました。地球志民として生きていく上で、世界観・国家観というものがより大切になってきま

した。地域に根ざし地域を愛する人たちが、国や世界を考え発言し行動した時、初めて「明るい豊かな社会」が広がり、我々の目指す「まちづくり運動」が実現するものと考えます。

「誇りあるまちあきた」創造の基本となる「ひとづくり」として、地域の人々の人間力向上への取り組みがあげられます。「権利と義務」「自由と責任」「個と公」。個人や組織がそれぞれのバランスを保ち様々な生き方が許される時代。しかしそのバランスが崩れている人や地域が存在すると、地球全体のバランスが崩れこの世界は成立しません。自己責任の時代、我々が望む地域主権型社会を実現するには、そこに集う人々の人間力向上が不可欠となります。人間力開発の啓発活動と直接的な人間力向上運動を継続的に取り組むことが大切と考えます。

そして、自然というハードだけに頼ることのない、人間力溢れる人々が集うあきたならではのスローライフを満喫できるまちづくりに励み、少子高齢化や若年層の一方的な県外流出等の問題にも対応できる、明るく活力ある地域づくりに取り組んでいきたいと思えます。

「こんな時にJCなんて」ということをよく耳にします。実際そういった声を、社内外から受けているメンバーもいるかと思えます。しかしよく考えてみてください。この経済状況や秋田の現状を見渡す時に、一企業のことだけを案じていて、企業経営できる時代でしょうか。豊かな生活を送ることができるのでしょうか。地域が沈滞すれば、当然市場は小さいパイの奪い合いに陥ります。町が無くなれば、企業がどうだと言う以前に存在する意味すら失いかねません。逆にこんな時代だからこそ、社会開発活動が企業経営者にとって必要なのです。自らの考えを明確にし胸を張って取り組んでいきましょう。勿論、我々は現在それぞれの企業を担う立場にいる筈です。

JC活動においても自らの修練に精進し、強い企業づくりに邁進していかなければなりません。「今の時代、40歳までは勉強だけ・・・」ということは通用しません。企業経営と社会開発活動の両立が、地域社会を担う我々に今求められているのです。

時代は一見逆風の中にいるように感じますが、逆にこんな時を20代・30代で迎えられる我々はとても幸せです。ピンチはチャンスです！折角のチャンスを存分に楽しみましょう。そして先人達がそうであったように、気合とプラス思考を武器に、夢を持ち、語り、そして実現していきましょう。人生において十分に条件が備わっている状況などほとんどありません。大きな目標があれば、条件などは自分で作り出せば良いのです。その信念があって、はじめて真の気概が盛り上がってくるのです。社団法人秋田青年会議所も新たな50年に踏み出し、その歩みを大地に刻み込む時期です。諸先輩の築かれた伝統に恥じぬよう、新たな時代を切り拓いて行きましょう！

1月定時総会を終えて

2004年度 (社)秋田青年会議所 1月定時総会



定時総会にご出席の皆さん、当日は悪天候の中、また早い時間帯にもかかわらず多数ご出席戴き、誠にありがとうございました。総務交流委員会として最初の事業であり委員会内にも若干のプレッシャーがありましたが、皆さんのご協力の下、予定時間内に総会を終えることができました。小南委員長に成り代わり御礼申し上げます。

さて、当日の私の仕事は司会補佐ということで司会の小南委員長の後ろに控えていました。そして印象に残る出来事が2つあったのです。

1つ目は議事の最中、議長役の山岡副理事長に呼ばれたことです。議長席から私を見つめ手招きされた瞬間、「そうか！この後、麻雀か！！」と悟りました。なぜなら今まで山岡さんから麻雀の誘い以外の言葉を掛けてもらったことが無いのです。腰を屈めて議長席に向かいながら「今、麻雀誘うってのはヤバイでしょ山岡さん、男だな。ホント好きだすな。」と期待と緊

張が入り混じり思わずニヤついてしまいました。そして、一言。『議場閉鎖後、外に人を出さないように。』って。そりゃそうだ。申し訳ありません・・・皆さん、議事進行中の移動は控えて戴きますよう今後もご協力お願いします。

2つ目は採決の時の事件でした。『賛成の方は、挙手願います。』えーとっ、私の確認範囲はみんな手を挙げているな、よしよし。さて、向かいにいる武石さんの受け持ちの範囲はどうだ？武石さんの方を見ると、おお！？こんな時に遅刻者席の嶋田信子さんに激しいジェスチャーを送っているではありませんか！「ヤバイ、ヤバイよ武石さん。衆人監視の中で嶋田さんを口説くのはマズイよ。みんな手を挙げたまま注目しちゃってるよ。」

しかし、嶋田さんは何度も首を横に振っています。「そうだよ。嶋田さんには旦那様もお子様もいらっしゃるんだ。さすがのレディキラーも今回ばかりは無謀だったな・・・かくなる上は仕方有るまい。」私は許されぬ恋に幕を降ろすため、意味不明なジェスチャーに目を白黒させている小南委員長に告げた。「委員長、全員賛成です。」その後、私と武石さんは学んだのです。『遅刻者には議決権がありません。』皆さんもご注意下さいね。 総務交流委員会 運営幹事 渡辺 毅



新年例会

去る1月14日(水)シャインプラザ平安閣において、恒例の新年例会式典・同懇親会が開催されました。当日は悪天候にもかかわらず、秋田商工会議所辻会頭、秋田県出納長品田稔氏をはじめ、約100名ご来賓をお迎えしました。現役メンバーに加え、OB会員のみなさま約50名にもご参加戴き、厳粛且つ盛大に執り行われました。

式典では松村理事長の凛々しい冒頭のご挨拶にて幕を開け、辻会頭、日本青年会議所森直樹副会頭、桑原代表世話人をはじめとするご来賓のご挨拶の中では、多くのエールと激励を頂戴致しました。懇親会では佐藤邦治秋田ブロック協議会会長の乾杯、齊藤参議員のご挨拶など、華やいだ雰囲気の中にも、終始、会場内

は熱気に満ち溢れていました。時間はあっという間に過ぎ、「若い我等」、金子健三先輩の中締めのご発声にて本年度の新年例会・同懇親会も滞りなく閉会となりました。

新年例会は2004新体制のお披露目となる船出の例会であり、外部より大勢のゲストをお迎えする意義深い行事です。担当である会員拡大委員会では緊張の中で当日を迎えましたが、素晴らしいスタートが切れたと思っています。当日の受付、誘導など、スムーズに運営することができたのも、ひとえに各委員会メンバーのみなさまからの多大なるご協力を戴いた賜であると思います。本当にありがとうございました。

会員拡大委員会 委員長 小畑宏介



京都会議を終えて～新入会員の京都会議記～

2004年1月23日から、新年度最初の全国大会でもある京都会議が3日間の日程で、開催されました。

私は今年新入会員として渉外委員会に配属になり、まさにJC活動の一番初めが、この京都会議でした。

第1班として23日に秋田を飛び立ち一路京都へ。はるか名物の「途中買い出し」皆が「きちんと買ってこれた人は、ここ10年まずいないよ。やめたほうが良いよ」と言われ、ならばと行くことを決意。停車40秒出来る！いざ実行。キヨスクが無い！ようやく見付け、ここですでに20秒経過。注文し、商品が手元に。遠くから「あと乗れ～」と声が。発車のベルが鳴る。キヨスクのおばちゃんも必死。なんとかおつりも貰い、飛び乗った。残り2秒前。「おまえははるか買い出しの歴史に名を残すだろう」など言われ、一路無事京都に着きました。

京都に着くと、各種セミナーに行く人、京都観光を楽しむ人それぞれの時間を過ごした。今回は地区ナイトの参加者が少なく残念ながら、中止となった。我々

渉外委員は次の日のため「多麻」「まつ栄」に挨拶に行き「まつ栄」では、女将さんに名刺を渡すと、すでに20数年前に卒業した、私の父の事を覚えており「秋田の桜皮細工の菅原さん？覚えてますよ。その息子さんですか」その時、秋田JCの歴史を悟らざるにはいられませんでした。二日目第2班と合流し、「多麻」へ。東京JCをはじめ各LOMの方がたが来て頂き大いに盛り上がったのですが、JCの事もまだ分からない私にとって、緊張の時であり何も分からないまま終わったLOM2次会でした。

最終日の式典では、慌ただしい中日本の会頭の所信を少しだけ聴くことが出来ました。最後まで聴けなかったのが残念に思われます。次回行く時は、会頭所信、演説をじっくりと聴きたいと思います。

日本情緒ある京都。夜うっすらと見えた春を待つ花御堂。秋田JCにとって歴史ある京都会議。新入会員としてほとんど分からない事ばかりでしたが、なにか一つ種を見付けて来た気がします。その種がいかに花を咲き、実を付けるか今から楽しみです。ありがとうございます。

渉外委員会
委員 菅原 雄一郎



初詣

去る1月3日、太平山三吉神社にて毎年恒例の初詣を行いました。小雨が降るあいにくの天気となりましたが、理事長をはじめ、多くの理事委員長が集まりました。

新年を迎え初めて会したからでしょうか、厳かな場所柄のせいでしょうか、控えの部屋では、皆神妙な面持ちでした。そして田村副理事長の祝辞、松村理事長が玉串を捧げ、一同今年度JC活動の無事と成功を祈願いたしました。

普段慣れていない正座のおかげで、足がしびれてよろめくメンバーの姿をみて、皆の表情も和らぎ、散会の頃には、早くもあちこちでJC談義に花を咲かせている人も見受けられました。また、それぞれ口には出さないものの、熱い思いを胸に秘めていることでしょう。

今年も様々なことがあるでしょうが、志し高く、頑張っていきましょう。

情報サービス委員会 委員長 辻 康平



新入会員紹介



加藤 恒
 情報サービス委員会
 S 46.2.13生れ O型
 ディー・ディープライムコ
 ミュニケーションズ
 【広告企画制作】



高橋 大輔
 人間力開発推進委員会
 S 52.10.30生れ A型
 有限会社 南波孔版印刷
 【印刷業】



葛巻 孝一郎
 総務交流委員会
 S 55.1.22生れ A型
 株式会社 南部家敷
 【飲食業】



古戸 修
 国を考える委員会
 S 49.2.19生れ O型
 大和施工建設 株式会社
 【建設業】



桜庭 春樹
 魅力あるあきた推進委員会
 S 43.4.3生れ A型
 有限会社 七宝商事店装
 【建築業】



山内 武
 企業力向上委員会
 S 48.6.30生れ A型
 株式会社 ライトン
 【電気設備工事業】



菅原 雄一郎
 渉外委員会
 S 50.4.28生れ A型
 桜竹工芸 株式会社
 【工芸品製造・販売
 ギフト】



三浦 圭介
 青少年育成委員会
 S 55.8.15生れ O型
 有限会社 弁当とらや
 【飲食店営業】



鈴木 亮
 会員拡大委員会
 S 53.2.6生れ AB型
 株式会社 リューバ
 【清涼飲料販売】



編集後記

寒いのか暖かいのか、イマイチはっきりしない天気が続いています。以前に比べ、近年の秋田の天候は間違いなく温暖化しているようです。子供の頃は、登下校の時に、道路に降り積もった雪やつららを食べていた記憶があります。いかにも不潔な感じがしますが、

路上に真っ白な雪がそれほど降り積もることや、軒先の美しいつららを見かけることも少なくなったとも言えると思います。私は寒いのは大嫌いですが、子供の頃の風景を思い出して、少しセンチメンタルな気分の今日この頃です。 情報サービス委員会 辻 康平